

市政の最近のできごとを紹介します。



新しい価値が生まれるまちへ

日本初となる「イノベーション地区」の創設に向けたシンポジウムを開催しました。国や市・大学関係者約50人が集まり、長岡のまちの強みやイノベーションが生まれるまちづくりなどを話し合いました。(5月23日)



満開のひまわりでお出迎え

3年ぶりの長岡まつり大花火大会を盛り上げようと、大島中学校の生徒50人が「花・はな広場」に2万本分のひまわりの種をまきました。8月2・3日には、約7,000㎡の敷地に咲く満開の花が、来場者を歓迎します。(5月26日)



花いっぱいフェア3年ぶりに開催

30回目となる「花いっぱいフェア」を市民防災公園で行いました。今年は混雑を避けるため日程を14日間に延長。訪れた人たちは市民が育てた2万本の花で彩られた花壇やものづくり体験などを楽しみました。(5月21日～6月5日)



地域で確認、高台までの道しるべ

寺泊の魚の市場通り周辺で、津波発生時の避難経路を歩くイベントが行われました。長岡造形大学・福本研究室のデザイン協力を得て市が設置した避難誘導看板をたどりながら、いざという時の行動を確認しました。(6月18日)



地域防災力の向上へ、研修会を実施

梅雨を前に地域の防災力を高めようと、防災対策基礎研修会を市立劇場で開催しました。自主防災会長や町内会長、避難施設の管理者など、約300人が参加。専門家を招き、水害時の避難行動などを確認しました。(5月20日)

わが町の防災タイムライン

地域の行動計画を考えてみませんか

洪水からの「逃げ遅れゼロ」を目指し、行動を時系列にまとめたタイムライン。今年、自主防災会などに向けたものを作成しました。普段から行動を整理し役割を明確にしておくことができます。ぜひ地域で活用してください。タイムライン作成の講師派遣もあります。(一部抜粋)

区分	収入	支出	内部留保資金による補てん	差し引き
下水道事業	100億3,665万円	97億4,740万円	-	2億8,925万円
水道事業	60億2,542万円	52億3,662万円	-	7億8,880万円
簡易水道事業	5億798万円	4億6,306万円	-	4,492万円
資本的収支	43億4,786万円	76億9,516万円	33億4,730万円	-
資本的収支	12億1,917万円	39億8,103万円	27億6,404万円	218万円 ※2
資本的収支	1億2,453万円	2億9,617万円	1億7,164万円	-



令和3年度 決算

問財政課 39・2209

選ばれるまちへ。暮らしを守り、未来へ投資

令和3年度の市の決算(見込み)がまとまりました。内容は、監査委員の審査を経て市議会で認定を受けます。決算資料は、アオーレ長岡1階の行政刊行物コーナーや各支所情報公開コーナーで9月上旬(予定)から閲覧できます。

一般会計

歳入 1,466億8,514万円
歳出 1,398億4,692万円
繰越財源※ 10億9,446万円

差し引き 57億4,376万円

※令和4年度に繰り越す事業で使います

いくらある?貯金と借金

貯金 138億 730万円
(基金残高) 【前年度比+34億3,499万円】

市民1人当たり 5万2千円
【前年度比+1万3千円】

借金 1,544億5,445万円
(市債残高) 【前年度比▲5億9,046万円】

市民1人当たり 58万6千円
【前年度比+4千円】
【※県内20市平均：70万7千円(令和2年度末)】

どんなことに使ったの?



市民の安全な暮らしを守る

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止、医療支援、地域経済の下支え
- ・自然災害への備えの充実
- ・鳥獣被害対策の強化 など



誰もがいきいき暮らせる地域づくり

- ・医療と福祉、健康づくりの推進
- ・子育て支援のさらなる充実 など

未来への投資や地方分散の受け皿づくり



- ・企業誘致や移住定住の促進
- ・イノベーションの推進
- ・「新しい米百俵」による人材育成や教育環境の整備
- ・カーボンニュートラルの推進 など

特別会計

特定の収入(保険料や使用料など)で、その事業の支出を賄う会計

会計名	歳入	歳出	差し引き
国民健康保険	244億1,138万円	239億6,568万円	4億4,570万円 ※1
国保寺泊診療所	8,361万円	8,361万円	-
後期高齢者医療	30億4,725万円	30億4,378万円	347万円
介護保険	275億8,975万円	272億1,455万円	3億7,520万円 ※1
診療所	2億6,622万円	2億6,622万円	-
浄化槽整備	3,829万円	3,829万円	-

※1 国や県から受け取る負担金が多かったことなどによるものです。令和4年度に精算します

企業会計

事業で得られる収入で支出を賄う独立採算制の会計

区分	収入	支出	内部留保資金による補てん	差し引き
下水道事業	100億3,665万円	97億4,740万円	-	2億8,925万円
水道事業	60億2,542万円	52億3,662万円	-	7億8,880万円
簡易水道事業	5億798万円	4億6,306万円	-	4,492万円
資本的収支	43億4,786万円	76億9,516万円	33億4,730万円	-
資本的収支	12億1,917万円	39億8,103万円	27億6,404万円	218万円 ※2
資本的収支	1億2,453万円	2億9,617万円	1億7,164万円	-

※2 国から受け取る補助金が多かったことによるものです。令和4年度以降に精算します